

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : テキサス A&M 大学

留学期間 : 平成 28 年 1 月 19 日 ~ 平成 28 年 5 月 10 日

今回の留学では交換留学前に期待、意図していた通り、自分の専門分野の建築について異なる視点から学ぶことができ、多様な考え、価値観、文化、バックグラウンドを持つ学生たちと長い時間過ごすことによって、自分の知識、経験値を大きく伸ばすことができた。

授業は、Elements of Architecture、History of modern architecture、Design studio、Seminar の 4 つを受講した。どの授業もとても興味深く学ぶことは多かったが、特に Design studio の授業には週の多くの時間を費やし、学ぶことや考えることが多かったので具体的に記述したいと思う。この授業は大阪大学でいう設計課題の授業であり、建築の学生が最も多くの時間を費やす授業である。一週間に 3 コマ、3 時間がこの授業に充てられており、5 単位分に相当するということからこの授業の重さはよく分かると思う。私はテキサス A&M 大学の建築学部の実務的な授業にとっても魅力を感じていてこの授業はまさに実務的なことを学ぶことができるものであった。隣町に建設するファーマーズマーケットのデザインをし、実際に自分たちで施工、予算、工期の見積もりを行うという、盛りだくさんなもので、今までに経験したことのない大学の授業の枠組を超えた、現実世界に直結した公共的なプロジェクトであった。この授業で取り組んだものは、建築の学生だけでなく、Construction Science の学生、Landscape Architecture の学生、エンジニア、市長、地主の方との協働のプロジェクトであった。今までの設計課題とは異なり、予算、時間、市長の意見、構造上の安全性など様々な問題、制約の中で大衆の人々に好まれる設計を行わなければならず難しかった。机上だけの勉強にいつも疑問を持っていた私は、建築についての基礎的知識を身に着けた時期に実務的な社会に直結したことを学ぶことができ、本当に有意義な授業であった。この授業では現実社会の厳しさを学ぶことができ、自分の専門分野についても見直すことができた。今までは漠然と将来は建築家になるか建築関係の仕事につくだろう、と考えていたが、自分が本当に興味があるのは建築単体だけでなく、より大きく広い視点から見た建築物と人々や敷地の関係性である、ということがわかった。今まで曖昧であった建築の分野のなかで自分が何に興味があるのか、将来どのように自分の学問を深め、社会に貢献していきたいのか、ということが少し明確になってきた。それに加え、アメリカの大学院に行きたいという希望が確信に変わった。卒業後は建築のマスターではなく都市計画のマスターを取得したいと考えている。交換留学中にはテキサス A&M 大学の教授に何度も相談し、推薦書の作成の願いをし、他の大学のマスタープログラムの教授にも話を伺い、積極的に近い将来について考え、行動に移し、具体的に準備を進めていくことができ、自分にとってかなりアドバンテージになったと思う。これは、専門の勉強をある程度深め、自分の将来について真剣に考えだす時期に交換留学に行くことができたため可能であったことであり、本当にベストなタイミングで交換留学に行くことができたことと改めて感じ、交換留学を認めてくださった大学の教授方には感謝の気持ちでいっぱいである。

1 学期と決して長くはない交換に留学であったのにも関わらず、滞在期間にできることはすべて一生懸命に取り組み、自分で積極的に動いていたため、得られたものは大きく、自分の将来の進路にも大きくプラスに影響を与えてくれたものであった。現地の学生たちの進路選択に対する、柔軟性、多様性は私を大きく励ましてくれた。滞在中は日本の良さを再確認する場面もたくさんあった。将来は、世界を舞台に働きたいと思っているが日本の発展にも貢献したいと思っている。実務的な知識や経験、スキルの学習に重きを置いた大学院で都市計画についての自分の知見を深め、様々な学生と切磋琢磨できる環境で勉学に励み、将来のキャリアのために自分を鍛え、備えていきたい。

これから留学へ行く人へのアドバイス

英語の学習はどれだけやってもやりすぎということは決してないので留学の出発直前まで常に英語に触れることをお勧めします。留学で必要なのは、第一にリスニング力です。リスニングができないと授業も分からない、友達とも会話が進まない、日常生活でも困る、ということが予想できます。加え、リスニング力をあげるのはとても時間がかかるので早め早めに取り組んでください。アメリカの大学に行く方には TOEFL のリスニングを聞くことをお勧めします。TOEFL のリスニングは大学の講義、大学での日常生活についての内容なので、アメリカの大学の授業の雰囲気をつかむことができるかもしれません。留学中に気を付けてほしいこともいくつか挙げさせていただきます。まず、日本人とずっと一緒に行動することは避けたほうが良いと思います。私が行った大学では日本人が本当に少なかったため、日本語はほとんど使うことがありませんでした。そのため、友達との会話でとてもスピーキング力が上がりました。留学先で日本人がいることはとても安心ですが、努めて一緒にいる時間を制限するなどして、できるだけ日本語を使う時間を減らすように心がけたほうが良いと思います。折角お金と時間を投資して留学に行ったのに日本語ばかり使っていたらもったいないと思います。辛いときは留学前の気持ちを思い出して乗り越えたら、と思います。そして、留学先での生活に慣れたらある程度のルーティンをつかって日常を過ごしたらいいと思います。初めは授業の予習、復習で結構な時間を占めてしまいますが、週 2, 3 日で同じ授業があり、学期中にひとつの授業につき 2~4 回重要なテストがあるので計画的に進めていかないと大変なことになります。隙間時間がつくれるようになったらさらに英語の勉強に励むのはいいことだと思います。私も実際にしていました。しかし、勉強だけだと精神的に辛くなるので週末は思いっきり遊ぶなどしてオンとオフをしっかりとつけた生活を心がけるのがいいと思います。留学はつらいこともあります。密度の濃くとも有意義な時間になると思います。精一杯に頑張ってください！